

みき 市議会だより

170

令和元年 5月31日
発行：三木市議会
三木市上の丸町10番30号
TEL 82-2000(代)
編集：市議会だより編集委員会

5月 臨時会

市議会の新体制スタート



副議長
岸本和也



議長
泉雄太

第18期市議会発足後初の議会である第351回三木市議会（臨時会）が5月17日に開かれ、議会の新しい体制が決まりました。

今期臨時市議会では正副議長選挙を行い、議長に泉雄太議員、副議長に岸本和也議員を選出しました。また、市長より提案された議案4件のうち、市税条例の一部改正などの専決処分2件及び市税条例の一部改正の議案1件について全会一致で承認又は可決し、議員のうちから監査委員を選任する議案については全会一致で同意しました。

さらに、市議会委員会条例の改正を議員提案し、議会運営委員会の定数を6人から7人に改めました。このほか、議会運営委員及び常任委員の選任、北播磨総合医療センター企業団議員及び兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行いました。

就任あいさつ

議長 泉雄太

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたびの5月臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の要職に就くこととなりました。

身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

もとより微力ではございますが、公正かつ円滑な議会運営に最善の努力を尽くす覚悟でありますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、「人口減少社会」の到来により、国はもとより、地方自治体では人口減少に歯止めをかけるべく様々な取組が進められています。

人口減少による経済活力の低下は、地方財政に大きな影響を及ぼすことから、三木市においても少子高齢化や人口減少に対応していくために、市の特性をしっかりと分析し、長期的な視点で取り組み、明るく豊かで住みよい、活力ある三木市の未来をつくっていかねばなりません。

市議会といたしましても、市民の皆様のご意見、ご要望を十分にお聴きし、市当局と議論を交わしながら最善の努力を尽くすとともに、さらなる市政発展のため、議会が丸となって、より開かれた議会、信頼される議会を目指して全力を傾注してまいりますので、市民の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

常任委員会

◎委員長 ○副委員長 (議席順)

総務文教 (8名)

総合計画及び創生計画の推進、行財政運営、快適な生活環境づくり及び教育・文化・スポーツ行政の推進について審査並びに調査をします。



◎中尾 司郎 ○松原久美子 大眉 均 大西 秀樹 古田 寛明 加岳井 茂 草間 透 初田 稔

民生産業 (8名)

保健・医療・福祉行政、消防・救急行政の充実、活力ある産業づくり及び安全な都市基盤づくりについて審査並びに調査をします。



◎藤本 幸作 ○内藤 博史 板東 聖悟 新井 謙次 堀 元子 岸本 和也 泉 雄太 穂積 豊彦

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長 (議席順)

議会を円滑かつ効率的に運営するための委員会です。

- ◎初田 稔 ○大西秀樹 板東聖悟
加岳井 茂 藤本幸作 穂積豊彦
松原久美子

監査委員 (議会選出)

穂積 豊彦

北播磨総合医療センター企業団議会議員 (議席順)

大西 秀樹 堀 元子 岸本 和也
草間 透 松原久美子

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員

大眉 均



会派構成

◎ 幹事長、団長、代表 (5月1日現在)

会派構成は次のとおりです。

よつ葉の会 (4人)

◎穂積豊彦 初田 稔 泉 雄太 草間 透

公政会 (3人)

◎藤本幸作 中尾司郎 岸本和也

公明党 (2人)

◎松原久美子 内藤博史

日本共産党 (2人)

◎板東聖悟 大眉 均

三木新党 (2人)

◎加岳井 茂 堀 元子

志公 (2人)

◎大西秀樹 新井謙次

走政クラブ (1人)

◎古田寛明



6月定例会のお知らせ

6月 3日 (月)	議案上程・提案説明
13日 (木)	質疑・一般質問
14日 (金)	
17日 (月)	予備日
26日 (水)	討論・採決等

詳しくは議会事務局までお問い合わせいただくか、市のホームページをご覧ください。

(本会議開催日の午前10時から本会議終了まで、「エフエム三木」(76.1MHz)で本会議の様子をラジオ放送いたします。)

